

第1回鎌倉版「スマートシティ」市民対話（2021.8.22 14:00~16:30）

問いに対する主なキーワード

【問い】

プレゼンテーション（鎌倉市が取組むスマートシティについて）を受けて、ワクワクしたことや気になったこと、質問したいことは？

<全体>

- ・ スマートシティの構想を鎌倉市はどのように市民に伝えていくのか？
- ・ スマートシティを日本語で一言でいうと？
- ・ 自分の生活と遠い印象がある
- ・ 小学生が理解できることばで説明できるようになることを基本に考える
- ・ 「スマートシティ」で「なにをやるのか」早めに、具体的に絞っていくことが必要
- ・ 鎌倉式 SDGs17 項目作る
- ・ 「スマートシティ＝誰のために、何のために、何を、どうする。」が小学生にも高齢者にも分かり易い言葉で説明できる必要がある

<グループ1>

- ・ 20年30年先もここにいるという前提で
- ・ 災害時の弱者をどういう風に救済するか
- ・ 若い子たちがもっと楽しみたい、住みたいなっている風になつたらいい
- ・ 鎌倉市に住んでいるのに鎌倉市のことに参加してこない
- ・ 祈りの場が多い

<グループ2>

- ・ 市民の意見を聞いてくれる町
- ・ オーバーツーリズム
- ・ IT、データ難しい、ついていけないことが課題
- ・ 総合的にワクワク

<グループ3>

- ・ 市民主体はすごくよい、もっと参加者を巻き込んでいくには？若者の力を活用したい
- ・ 働ける街になってほしい
- ・ 技術進化スピードはとても速い、そこにキャッチアップすることも大事
- ・ まちづくりは人づくり、コロナで人の関わり合いが希薄に、テクノロジーでどう解決？
- ・ 監視ではない防犯カメラ的なものを活用できないか
- ・ 安心安全で行きやすい環境を望む、「スマートコミュニティ」

<グループ4>

- ・ 車中心から人間中心、対話重視型のスマートシティ

- ・ 若いときからスマートシティを
- ・ オーバーツーリズム、観光客と市民の満足度にギャップ、観光客と市民の関わりを
- ・ 便利についていけないところ、一人残さず関わって
- ・ 災害時、観光客をどう安全に避難させるか

<グループ5>

- ・ 若い人がファシリ！
- ・ ファーストペンギン
- ・ 高齢の方へのテクノロジーのサポートは？学生の取組みをもっと広げていきたい
- ・ バルセロナのように交通便へアクション！
- ・ 世代間交流、人と人とのつながり、世代を超えて！子育てしやすい街へ！
- ・ 交流の場や機会が欲しい、コロナで交流がストップ

<グループ6>

- ・ 市民の人と作り上げていく
- ・ 相反する課題の解決
- ・ どんなテーマでも議論ができる鎌倉
- ・ 自分ではなく自分たちの安心のため、どこから手をつけていくべきか